

## ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。（建築基準法施行令第93条）

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

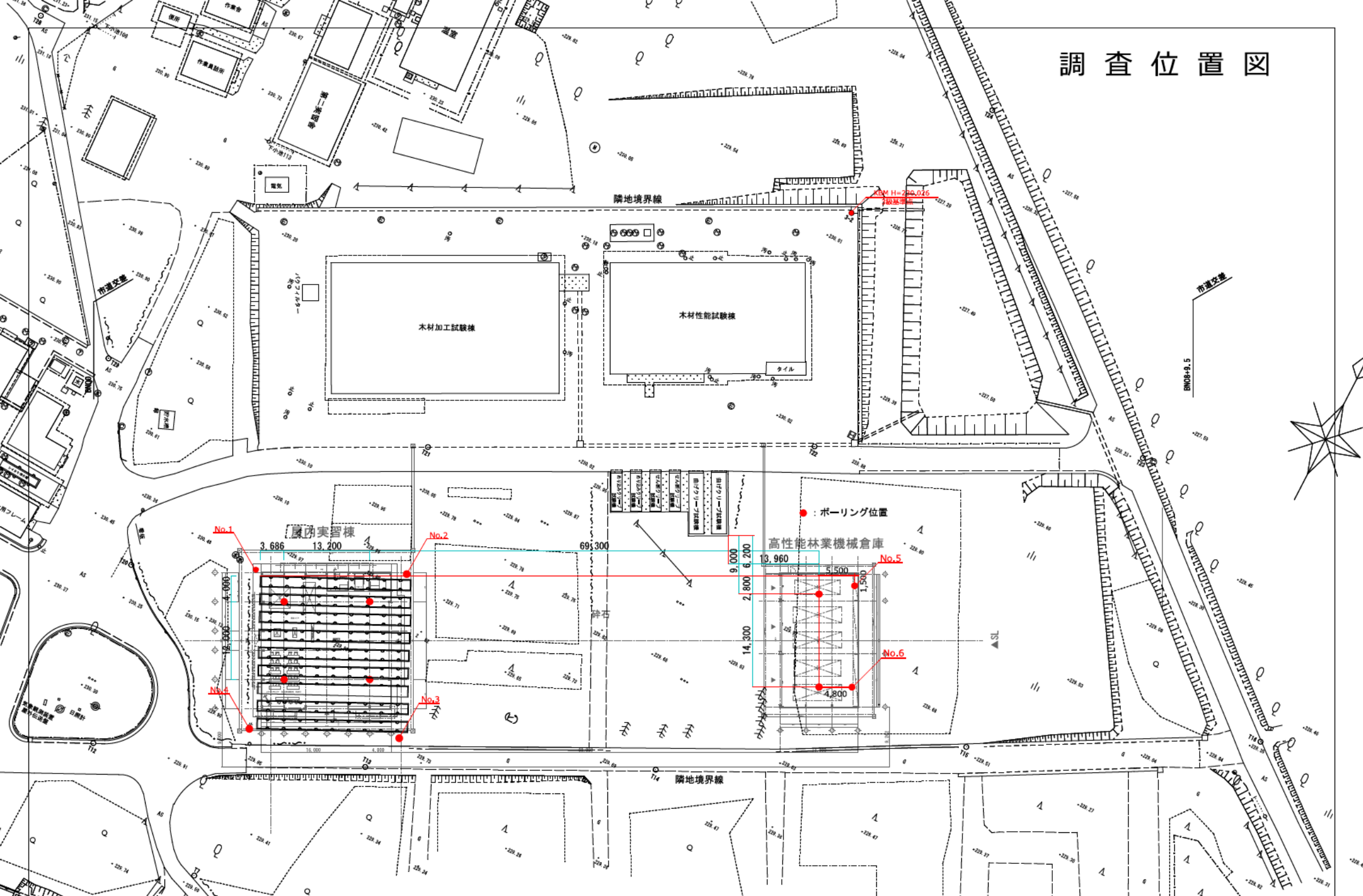
したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県県土整備部建築課

# 案内図



# 調査位置図



# ボーリング柱状図

調査名 設計委託 林業大学校(仮称)新築工事(その2)

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名 No.1		調査位置 栃木県宇都宮市小池町210		北緯 36°40'29.71"	
発注機関		調査期間 令和3年10月29日～令和3年11月2日		東経 129°48'53.94"	
調査業者名		主任技師		現場代理人 コア鑑定者	
ボーリング責任者		試験機 東邦DO-DL		ハンマー落下用具 半自動落下	
使用機種 エンジン ヤンマーNFAD-8		ポンプ 東邦-BG3CL			
孔口標高 230.06m	角 180°上 90° 下 0°	方 270°北 90°東 180°南	地盤勾配 水平0° 鉛直90°		
総掘進長 15.17m					

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色相対調度	相対密度	記号	孔内水位(測定月日)	標準貫入試験				原位置試験	試験採取番号	室内試験	掘進月日
								深さ (m)	10cmこの打撃回数	N値	打撃回数/貫入量 (cm)				
229.26	0.80	0.80	黄土	黒褐色		黒く土よりなる粘性弱い含水高位植物根多量混入		1.15	1	1	60	0.5			
227.76	1.50	2.30	軽石	暗赤褐色		1.10m迄は七本彩軽石φ1~3mm火山砂少量混入 1.10m以降は今市軽石 粒子は膠着気味で不明瞭 黒色のスロリア少量混入 含水高位	10/29 4.50	1.75	60	60	0.5				
						粘性弱い~やや弱い含水高位 φ1~2mmの軽石点在 4.85m以降、シルト化が進む φ1~3mmの軽石多量混入		2.15	1	1	50	0.6			
						粘り強い		2.65	1	1	50	0.6			
								3.15	1	1	13	2			
								3.45	1	1	17	2			
								4.15	1	1	18	2			
								4.45	1	1	18	2			
224.96	2.80	5.10	ローム	茶灰		腐泥軽石層 風化が進み粘性土化している 含水高位		4.50	1	1	37	0.8			
224.36	0.60	5.70	軽石	乳黄灰				5.15	1	1	37	0.8			
224.16	0.20	5.90	ローム	茶灰		粘性中位 含水高位		5.52	27	23	50	17	88.2		
								6.15	50	4	50	4	375		
								6.32	50	4	50	4	375		
								7.04							10/29
								8.15	20	17	13	50			
								8.45	50	6	50	6	250		
						最大粒径φ500mm前後(コア長200mm) φ5~70mm程度の固円礫主体 礫の含有率は概ね20% マトリックスは粒子不均質な砂 粗粒分少量混入 5.80m付近よりφ100~200mmの玉石散在 含水高位 13.50mより所々細削泥水の逸水有り		9.00	50	6	50	6	250		
								9.05							
								10.15	17	16	17	50			
								10.43	10	4	8	28	53.6		
								11.00	50	9	50	9	66.7		
								11.09							
								12.15	18	19	13	50			
								12.41	50	6	50	6	26	87.7	
								13.00	50	5	50	5	300		
								13.05							
								14.00	50	8	50	8	87.5		
								14.08							
214.89	9.27	15.17	玉石混り砂礫	褐灰				15.15	50	2	50	2	750		
								15.17							





# ボーリング柱状図

調査名 設計委託 林業大学校(仮称)新築工事(その2)

ボーリングNo.  

事業・工事名  

シートNo.  

ボーリング名 No. 4	調査位置 栃木県宇都宮市小池町210	北緯 36° 40' 28.98"
発注機関	調査期間 令和3年11月6日～令和3年11月8日	東経 139° 48' 54.54"
調査業者名	主任技師	現場代理人
孔口標高 229.86m 総掘進長 15.09m	角 180° 上下 90° 方向 270° 北 0° 西 180° 東 90° 地盤勾配 水平0° 方位 90°	コア 鑑定者 ボーリング責任者
試験機 東邦DO-DL エンジン ヤンマーNFAD-8		ハンマー 落下用具 半自動落下 ポンプ 東邦-BG3CL

標高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	相対湿度	記号	標準貫入試験				原位置試験	試験採取	室内試験	掘進
									深 (m)	10cmの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N 値				
228.81	1.05	1.05	表土	黒褐				黒ぼく土よりなる粘性弱い含水中层植物根多量混入下部 軽石散在	1.15	2	1	5				
227.26	1.55	2.60	礫石	暗赤褐				1.30m位は七本椋石 φ1~3mm 火山砂少量混入 1.30m以降は含有礫石 粒子は膠着気味で不明散 黒色のスコリア少量混入 含水高位	1.45							
224.66	2.60	5.20	ローム	茶灰				中位 粘性弱い~やや弱い 含水中层 φ1~2mmの軽石・スコリア混入 3.70~3.80m 火山砂散在	2.15	1	1	50				
224.06	0.60	5.80	砂質ローム	淡褐				中位 粘性弱い 含水中层 全体に砂分混入 φ2~5mmの軽石散在	2.65	50	1	50				
223.61	0.45	6.25	礫石	乳黄				底層礫石層 風化が進み粘性土化している 含水高位	3.15	2	1	2				
223.31	0.30	6.55	ローム	茶灰				粘性中位 含水高位	3.45	12	8	30				
214.77	8.54	15.09	玉石混り砂礫	褐灰				最大粒径φ300mm前後(コア長120mm) φ5~70mm程度の面円礫主体 礫の含有率は概ね30% マトリックスは粒子不均質な砂 粒径分少量混入 含水高位 9.00m以降、φ100~200mm程度の玉石多量混入 9.20m付近より、断続的に掘削水の逸水有	4.15	1	1	30				
									4.45	2	2	1				
									5.15	2	1	1				
									6.15	1	2	1				
									6.45	15	5	30				
									7.00	50	8	50				
									7.08							
									8.15	15	20	15				
									8.40							
									9.15	15	12	15				
									9.45							
									10.00	50	2	2				
									10.02							
									11.00	50	3	50				
									11.03							
									12.00	50	3	50				
									12.03							
									13.00	50		50				
									13.10			10				
									14.00	50	9	50				
									14.09							
									15.00	50	9	50				
									15.09							





